

岐阜県立吉城高等学校

学 校 長 下平 貴昭
学 校 住 所 飛騨市古川町上気多 1987-2 電話 0577-73-4555

- 1 会議の名称 岐阜県立吉城高等学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|-------|-------|--------------|
| 評 議 員 | 井端 浩二 | 井端カメラ |
| | 春見 孝幸 | 卒業生の保護者 |
| | 澤 忠人 | 飛騨古川青年会議所理事長 |
| | 前川 文博 | |
| | 吉野 弘子 | 吉城福祉会評議員 |
- (委員名は五十音順)
- | | | |
|-----|-------|--------|
| 学 校 | 下平 貴昭 | 校長 |
| | 小栗 英幸 | 教頭 |
| | 白川 良文 | 事務長 |
| | 川上 齊 | 教務主任 |
| | 高ノ山裕一 | 生徒指導主事 |
| | 藤守 学 | 進路指導主事 |
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援、協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成25年6月20日（木）8:00～10:10 吉城高等学校会議室
評議員5人と学校6人が出席
- 5 会議の概要

テーマ 吉城高等学校の現状と課題、今年度の取組について

- 学 校 （資料にそって教務部、生徒指導部、進路指導部から現状と課題、本年度の取組等を説明した。）
- 意見1 入試での定員割れ問題は危機的状況である。飛騨市内の高校は2校とも同様である。取り組んでいるとは思いますが、対策が必要である。
- 意見2 目的意識をもつ子どもたちのため、本校のようなしっかりとした校風のある学校は必要である。入学してからの指導こそが大切である。
- 意見3 学校ホームページについて、内容は更新されているが、トップページの項目で昨年度のものがある。トップページを更新することで皆が見る気になる。
- 学 校 早速、対応する。
- 意見4 神岡、宮川、河合地区へも吉高ニュースを回覧してもらえないか。予算的に難しいことは分かるが広報することは大切である。

- 意見5 部活動の活躍が町では分からない。市役所に垂れ幕などアピールしてはどうか。
- 意見6 写真部、美術部、華道部などが外部で発表する機会はあるか。
- 学 校 彩り館で美術部が発表するなど、外部に出張して発表することはあるが、そのことの広報が十分ではない。
- 意見7 生徒の授業評価とは、どのようなものか。
- 学 校 年2回、生徒に授業アンケートを実施し、その結果を教員へフィードバックすることによって教員の指導改善につなげるもの。第1回目は6月初旬に実施した。
- 意見8 生徒の登校風景を校外でも見たが、問題ない。
- 意見9 普通科高校ではあるが、就職希望の生徒へのワープロ、パソコン指導の授業があってもよいのではないか。就職系の授業を取り入れることはどうか。
- 意見10 就職希望であることは、いつ頃決めるのか。(→2年生の終わりには決めている。) 就職希望者に対する、就職後に必要とされる内容の授業の実施を望む。
- 学 校 就職内定者への指導として、社会人として必要な心構えやビジネスマナーについての講習などは実施している。ワープロやパソコンについての指導は、教科「情報」で全員に対して実施している。
- 意見11 校舎が階段もトイレも大変きれいであった。ゴミも分別が指導されていてよい。
- 意見12 部活動で燃焼できる態勢づくりを望む。社員の中には横の関係づくりは得意だが、縦の関係づくりは不得手のものが多い。部活動などで、学生時代に縦の関係づくりについて教えてほしい。
- 意見13 理数科から文系の学部への進学は可能か。
- 学 校 対応は可能であり、実際に進学している生徒もいる。

6 会議のまとめ 本校が地域の方々に温かく見守っていただいていることを再確認できた。地域に対して、本校の魅力をより具体的に発信していく必要を感じさせられた。